

作業プロセス:



LEXUS 1L3ベースコートのボカシ塗装
(スタンドブルー®ベースコート)

素地:

- ・補修箇所の準備は(塗装仕様S3)を参照

前処理 /
クリーニング:

- ・補修箇所をP800-P1000で研磨、そして研磨用パッドでパネル全体を足付け処理



Standox® 塗装仕様S1素地準備情報を参照

塗装:

- ・ カラーブレンド塗装
 - ・ ボカシ範囲にStandoblue® カラーブレンド8570/8580を塗装
- ・ グランドコートボカシ塗装
 - ・ Standoblue® ベースコート1L3グランドコートに20% Standoblue® ビスコシティアジスター8510/8520を混合
 - ・ 通常通りグランドカラーを塗装し、隣接パネルへボカシ塗装
 - ・ 艶が完全に消えるまでフラッシュしタッククロスでオーバーミストを丁寧に除去
- ・ 第1クリヤー塗装
 - ・ グランドカラーより広くStandocryl® 2K クリヤー類もしくはStandocryl® VOC クリヤー類をTDSに従い塗装し乾燥
 - ・ パネル全体にクリヤー塗装可能、ただし隣接パネルエッジ部は厚くしない
 - ・ クリヤーはベースカラーの最終塗装範囲より広く塗装する

サンディング:

- ・ 完全乾燥後、クリヤーコートとボカシ部をP1500でクリヤーの肌をフラットにしP3000で目消しを行う
- 注意:クリヤーコート層を研ぎ出さない事

*次ページに続く

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与めますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

作業プロセス:



LEXUS 1L3ベースコート
(スタンドブルー®ベースコート)

塗装:

- ・ カラーブレンド塗装
 - ・ ポカシ範囲にStandoblue® カラーブレンド8570/8580に300%トランスフォーマー8100を混合
 - ・ カラーブレンドをポカシ部に薄く均一に塗装
- ・ ベースカラーポカシ塗装
 - Standoblue® ベースコート1L3カラーベースに300%トランスフォーマー8100を混合
 - ・ ベースカラーをポカシ最終範囲まで薄く均一に塗装しカラーブレンドに馴染ませる
 - ・ 艶が消える迄フラッシュオフしタッククロス
- ・ カラーブレンド塗装
 - ・ カラーブレンド2コート目は1コート目を超えて薄く均一に塗装
- ・ ベースカラーポカシ塗装
 - ・ ベースカラー2コート目は1コート目の内側に薄く均一に塗装しカラーブレンドに馴染ませる
 - ・ 艶が消える迄フラッシュオフしタッククロス
 - ・ 比色時に確認した回数塗装する。5-6コート必要
必要に応じてカラーブレンドを塗装
- ・ クリヤー塗装
 - ・ TDSに従いパネル全体にセルフリストアリングクリヤー対応クリヤーを塗装し乾燥

重要ポイント:

- ・ グランドコートはプレーガンの向きに注意しオーバーミストを避け、ポカシ範囲を広くしない
- ・ 第1クリヤーを塗装する事でより強い光輝感と無垢の金属のような滑らかな仕上がりにする効果があります(場合によっては省略する事が可能、その場合グランドカラー、カラーブレンドにStandoblue® ハードナーを5%添加する

* 次ページに続く

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせる場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

作業プロセス:



LEXUS 1L3ベースコートのボカシ塗装
(スタンドブルー[®]ベースコート)

重要ポイント:

- ・ ベースカラー/カラーブレンドは必ずトランスフォーマー8100で希釈する
- ・ トランスフォーマー8100を混合したカラーブレンド、1L3ベースカラーはウェットに塗装しない
- ・ ベースカラーのコート間は必ずフラッシュオフし、タッククロスでスプレーミストを除去
- ・ ベースカラーは必ずグランドカラーを超えて塗装する
- ・ BSM(ブラインドスポットモニター)の電波照射範囲に塗装する場合、MIX130が電波照射に影響を与えるため、配合比率を下げてあります。全体量の30%を超えないようにご注意ください
- ・ BSM塗装に関しては自動車メーカーのボディー修理書に従って行ってください

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」